

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

[illegible]

事務事業名	県清掃協議会参画事業	事務事業No.	50702000217	所属課	生活環境課
-------	------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

昭和35年に協議会が設立され、その趣旨に賛同して参加した経緯がある。
適正処理困難物、災害時における廃棄物処理、容器包装リサイクルなどの対応が市町村に求められている。

(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？

特になし

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）	
	☒ 結びついている	廃棄物の適正処理は重要な施策であるため。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）	
有効性	☒ 妥当である	清掃事業の円滑な推進には、常に情報を把握することが必要不可欠である。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）	
	☒ 向上余地がない	会員として参加しているため、向上の余地はない。
効率性	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）	
	☒ 影響有	情報や意見交換の場が失われる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性がありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名	
公平性	☒ 余地がない	他に情報を入手する手段がない。
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	
	☒ 削減余地がない	最低限のコスト負担である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	
	☒ 公正・公平である	負担金は、人口割及び均等割りにて算出しているため、公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果			(2) 全体総括（振り返り、反省点）																												
①目的妥当性	■ 適切	□ 見直し余地あり	⇒	研修会・講演会に参加。清掃事業に関する調査・研究・情報・資料等の収集交換等が実施されている。																											
②有効性	■ 適切	□ 見直し余地あり																													
③効率性	■ 適切	□ 見直し余地あり																													
④公平性	■ 適切	□ 見直し余地あり																													
(3) 今後の事業の方向性																															
☐ 終了 ☒ 継続 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 改革改善を行う ☒ 現状維持 (複数回答可) ☐ 目的の再設定 ☐ 有効性の改善 ☐ 統廃合ができる ☐ 効率性の改善 ☐ 公平性の改善 ☐ 連携ができる			(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																												
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策			<table><tr><td colspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>					コスト					削減	維持	増加	成果	向上					維持		○			低下				
					コスト																										
					削減	維持	増加																								
			成果	向上																											
維持		○																													
低下																															
			(6) 事務事業優先度評価結果																												
			成果優先度評価結果		⑨																										
			コスト削減優先度評価結果																												

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 ☒ A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 ☐ B B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 ☐